

第48号 2008.12.28

高松県立幡多けんみん病院発行

〒788-0265

高松市山手町5番2-1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/hata

病院ニュース

# News Letter

## 病気ひとくちメモ

### 前立腺疾患について

泌尿器科 澤田耕治

前立腺は膀胱の下にある栗の  
実大の臓器で精液の一部（前立  
腺液）を作るところです。

それが加齢に伴い肥大し尿道  
を圧迫し様々な症状を呈します  
が、少しずつ大きくなるためそ  
の環境に慣れてしまい自覚症状  
としては乏しい場合もあります。

症状としては頻尿、残尿感、  
尿勢低下、失禁等があり、初期  
の場合は内服薬で対処可能です。

実際残尿が多くなるなど状況  
が悪化した場合は手術の適応と  
なりますが、ほとんどが経尿道  
的な手術が可能で短期間の入院  
で済みます。前立腺癌も検診の  
普及、高齢化に伴い増えており、  
初期の症状は前立腺肥大症の症  
状しかなく、気になる方は一度  
受診してみてください。



## 部署だより

### 地域連携

#### クリニカルパスについて

クリニカルパス委員会

“地域連携クリニカルパス”  
とは、ある疾患について、急性  
期病院から、回復期を経て、在  
宅までの一連の治療の流れを記  
載した治療計画表です。

各連携病院の、医師、看護師、  
理学療法士、ソーシャルワーカー、  
医療事務など、いろんな職種が  
集まって、地域性を考慮しつつ、  
現在の標準的な医療を行えるよ  
う作成していきます。

“地域連携クリニカルパス”  
を用いることで、急性期から  
慢性期まで、一貫した治療が可  
能となります。

これからの地域医療は、各医  
療機関の役割分担を明らかにし、  
連携を行うことが不可欠になり  
ます。幡多地域においても、地  
域で完結できる医療を実現する  
には、急性期病院としての幡多  
けんみん病院と、回復期や慢性

期病院、そして、その後在宅へ  
の準備や、あるいは、地域に帰  
ることのできない方を介護して  
いただく、医療・介護施設との  
連携を進めていく必要があります。

現在、幡多けんみん病院と、  
幡多地域の病院10施設で、“大  
腿骨頸部骨折”について、“地  
域連携クリニカルパス”を作成  
し、使用しています。

今後、脳卒中など、いろんな  
疾患で“地域連携クリニカルパ  
ス”を作成し、幡多地域におけ  
る医療連携を進めていきたいと  
考えています。



# クリスマス コンサートが盛大に

12月19日（火）に毎年好例のクリスマスコンサートが盛大に開かれました。2F放射線科前のロビーに特設された会場に、ざっと200名くらいの観客が集まり、クリスマスメドレーやマツケンサンバ、青い山脈などのロビーに響き渡るメロディーに聴き入りました。

一番後ろの列では小さな子供さんが曲に合わせて楽しそうに踊ったり、指揮者の手振りを真似したりと微笑ましい光景も見られました。

このコンサートは当院が開院した年から毎年開催していて、今年で8回目となりました。こうして続けてこられたのも、第1回目からずっと演奏してくださっている中村交響楽団の皆様のご好意のおかげです。同楽団に当院の職員が所属していたことがきっかけとなり始まったそうです。

このコンサートの趣旨は「患者さん、地域のみなさんにほっと一息ついてもらえるやすらぎの場を提供し、職員とともに愉

しいひとときを過ごすしてもらいたいこと。」です。

当日は午後7時からの開演に合わせ、病棟から多くの入院患者さんが聴きにきて下さいました。車イスの方や介助が必要な方もおられますが、近くの幡多看護専門学校の学生ボランティアなどの協力も得て、参加していただくことができました。

これからもずっとこのコンサートを続けていきたいと思っておりますので、患者さんはもちろん、患者さんに限らず、来年も多くの皆様が聴きにきてくださることを願っています。



# くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

11月はご意見箱だけでなく、職員へ口頭で寄せられたものも含めて、ご意見、苦情が7件と少ない月でした。内訳は左の表をご参照ください。

## ご意見の集計

分類	回収月	4-11月
	11月	合計
病院運営、経営について	1	15
施設、療養生活について	0	22
待ち時間について	0	11
接遇について	4	36
感謝、お褒め	1	11
事務手続きについて	0	21
その他	1	2
合計	7	118



# アッザローム・アライクム

「ウズベク語でこんにちは」  
東 朝子  
（東さんは、今年の4月まで当院で勤務し、現在は青年海外協力隊員として、中央アジアのウズベキスタンで活動中です。）



夏は猛暑に見舞われていたウズベキスタンですが、内陸のためか、冬の寒さもなかなか厳しいです。11月中旬に初雪が降り、日陰ではその雪が今も残っています。タシケントの冬の最低気温は現在0度。ですが地方によってはマイナス40度近くにまで冷え込むとか。夜は特に冷えるため、私は日本から送ってもらった湯たんぽをよく使っています。この寒さは3ヶ月くらい続くそうです。なんとかが耐えていきたいと思います。

タシケントの暖房は、管の中を熱湯が通ることにより暖めら



子供が雪で遊ぶのはどこも似ていますね

れる設備が住宅に備えられていて、市内全体で管理されています。この暖房がうまく機能するかを確かめるために、毎年秋になると市内のあちこちで断水と水道管の工事が行われます。私のアパートは2週間水が止まったため、食事は外食、お風呂は同期隊員の家に借りに行くなどして乗り切りました。水のありがたさを痛感したできごとでした。

るとまだまだじろいでしまいますが、ウズベク語ではだいたいコミュニケーションを撮ることができるようになったと思います。

さて、私の名前は「朝子」というのですが、日本でのウズベク語の授業で頭文字のAをとって「アサルホン」という名前をつけてもらったので、病院でもそう呼ばれています。ネームプレートには両方の名前が印刷されています。「アサル」の意味はハチミツです。最初は恥ずかしかったのですが、今では逆にウズベク名で呼ばれる方に慣れてしまいました。彼らにとっても覚えやすい名前だそうで、コミュニケーションがうまくいっているのはそのためかもしれません。

現在は外科集中治療室で働いています。こちらでは交通事故がよくないためか、交通事故による外傷の患者さんがとても多いように思います。人工呼吸器をつけている患者さんが多く、患者さんとのコミュニケーションは今までの中で一番難しい部署かもしれません。ウズベク人のスタッフに支えられて、言葉が足りないところや理解できないところを助けてもらいながら活動しています。



大掃除？

余談ですが、こちらでよく使われている消毒液はズリヨンカという緑色の液体です。イソジンの黄色を見慣れている私にとってケガをした患者さんの皮膚が緑色をしている光景は最初かなりショッキングでした。

12月は日本ではクリスマスで賑わいますが、ウズベキスタンのクリスマスは少しだけ紹介します。といっても、イスラム教徒にとっては全く関係のないクリスマスです。ロシア人の多くはキリスト教徒です。（正しくはロシア正教と言うそうです。）ロシア正教だと、1月7日がクリスマスとなり、本場ロシアでは盛大にお祝いするそうです。私の住んでいるタシケン



クリスマスのイルミネーション

トでも、ここ1週間くらいの間に街のあちこちでクリスマスモードが感じられるようになりました。日本に比べるとイルミネーションは少なめですが、それにきれいです。

クリスマスと並行して新年を祝う飾り付けや広告も多く見かけるようになりました。たいてい、直訳すると「新年とともに（お祝いします）！」というウズベク語やロシア語が書かれています。特別な料理などはないのですが、家族が集まって食卓を囲むそうです。

書いていると日本のお正月が恋しくなってきました。みなさん、よいお年を！

## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

### からだにやさしい食生活

#### 御節料理

栄養科

食の楽しみ・季節・伝統を味わう絶好の機会といえるのが正月料理です。

現在は、正月に仕事があったり、旅行に出かけたりと、家でゆっくり過ごさないことが当たり前になり、おせち料理を頂く人が少なくなってきたというように聞きます。ご家庭で手作りされることはとても素晴らしいことだと思われまます。

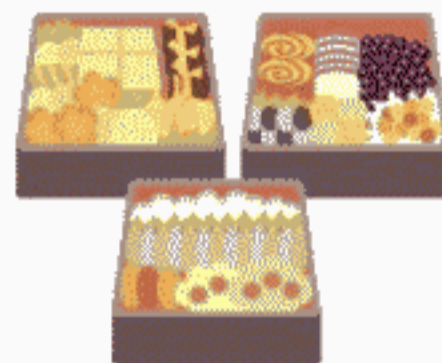
おせち料理の一品一品には意味があり、一年の家族の健康などを願って縁起を担いでいます。家族や親戚とともにお重を囲んで代々の伝統の味を後世に継承していくための、大切な行事といえます。

それぞれのご家庭に合ったお味や内容で変化をつけて楽しんでいただきたいと思います。

好き嫌いをなく食事をし、その味や意味を学び、季節を楽しむ。食育という言葉は子供のためではありません。大人が学び伝える

るためにあります。

ぜひ「我が家の味」・「懐かしい味」を味わってください。



### 1月研修予定

患者様向け

9日(火) 糖尿病教室(日常生活)

活の注意点②/食事の基本)  
\*糖尿病教室は興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください

23日(火) 糖尿病教室(検査と

治療目標/食品交換表)

病院職員向け

22日(月) MCカンファレンス

25日(木) 幡多医師会学術講演会

## 11月の統計

外来患者数	15,018人
新外来患者数	2,333人
紹介患者数	361人
新入院患者数	499人
退院患者数	512人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,340人
手術件数	175件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。